

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成29年4月21日(金)
招集の場所	議員控室
開会	午前9時30分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 吉田 二郎 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 橋本 四郎 委員 佐野 善弘 委員 平吹 俊雄
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	・平成27年度全国及び県内の各自治体における一般廃棄物処理事業実態調査結果について ・先進地取り組み状況の視察について 県内上位自治体 全国上位自治体
その他	なし
閉会	午前10時56分

2号様式 協議の経過

	開会 午前9時30分
福田委員長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>昨夜はおそくまで大変お疲れ様でした。</p> <p>久々の常任委員会になりますけれども、ただいまより第14回教育、民生常任委員会の会議を開きます。</p> <p>委員、全員出席ですので、委員会は成立いたしております。</p> <p>本日の協議事項ですが、1点目は平成27年度の全国及び県内の各自治体における一般廃棄物処理事業実態調査結果について、皆さんで審議したいと思います。</p> <p>この表につきましては、事務局のほうで用意していただきました。</p> <p>それから、2点目は先進地の取り組み状況の視察について議題といたします。</p> <p>県内の上位自治体と全国の上位自治体ということで進めていきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、資料に目を通す時間を設けたいと思います。</p> <p>暫時、休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前 9時32分</p> <p>再開 午前10時00分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>委員、全員出席ですので、委員会は成立いたしております。</p> <p>ただいま、平成27年度について総括表を見ていただきました。</p> <p>その中で、本町の実態は、ごみの総排出量が平成26年度から比較しますと増えております。</p> <p>それから、1人1日当たりの排出量も、平成26年度の比べて増えております。よって、順位につきましては、</p> <p>休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前10時01分</p> <p>再開 午前10時02分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>リサイクル量につきましては、前年度と比較しますと減っているということで、それから、リサイクル率につきましても、26年度よりも下がっています。宮城県内では相変わらず、下から2番目という数字になっております。こういう実態でした。</p> <p>この表に基づいて何かありましたら、皆さんからご意見を、これからの進め方もありますので、ご意見があれば伺いたいと思います。</p> <p>はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>委員長、問題は減らしたいということでしょう。</p> <p>減らすためにはどうすべきか検討すればいいのであって、減らすために</p>

	<p>この町が具体的に何をしているか、そのことがなされているかどうか、まず調べる必要があるでしょう。</p> <p>産業廃棄物処理法という法律があるけれども、皆さん分かりますよね、廃棄物の処理や清掃に関する法律、これを見なければならぬ、これに書かれていること知っているでしょう。</p>
大橋委員	資料があるのであれば、いただければ。
橋本委員	私のは自分で作って、法律からひろって、ワープロしながら。
柳田委員	自分で調べたところは分かるのだろうけれども、まわりの人はまだ調べていないので分かりません。
橋本委員	しゃべる時は、手を挙げて。 昨日、議長に言われたでしょう、議事録のこと。
柳田委員	はい、はい、そうです、分かりました。 委員長、いいですか。
福田委員長	はい、柳田委員。
柳田委員	こちらの表ですが、一番最後に載っている最終処分率のことですが、うちの町が異常に高いのですが、昨年のデータを見ると、最終処分率が 29 位から 6 位まであがっている。どういう見方をすればいいのか。
福田委員長	最終処分率は、最終処分量、割る、ごみ総排出量です、計算は。
柳田委員	分母が増えたということですか。 ごみが増えて、最終処分量が減ったということですか。 この残渣でいうと、焼却残渣と処理残渣という数字が。
福田委員長	休憩いたします。
	<p>休憩 午前 10 時 06 分</p> <p>再開 午前 10 時 10 分</p>
福田委員長	<p>再開します。</p> <p>先ほど、減らすためにどうするのが問題、それを調査することが必要だと、どういう取り組みをこれまで行ったのかという部分については、昨年の 12 月 26 日と今年の 2 月 17 日に、担当課との意見交換をしたという経緯がございます。</p> <p>今回は、平成 27 年度の実態調査の結果が、この表に出てきました。</p> <p>先ほど、橋本委員からありましたように、この数値ですね、今までどういう取り組みをしてこの数字になったのか、柳田委員から最終処分率については、何故、こういうふうにながったのかというお話もありましたので、この表に基づいて、私たちはその中身が想像でしか分からないので、その辺もまた担当課にお聞きしてはいかがでしょうか、提案ですが。</p> <p>他に、この方法がいいという方があれば。</p> <p>はい、大橋委員。</p>
大橋委員	県のほうに問い合わせてもらって、順位だけ見ていくとあれですので、県内の把握している部分、先進的に取り組んでいる市町村の紹介をいただ

	<p>くというのは、いかがでしょうか。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>まずは、先進地の視察についてはこれからですね。</p> <p>それでは、担当課に、この表に基づいて数値についても詳しく聞けると 思いますので、担当課との話し合いをしていく方向にしたいと思いますの で、それでよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>暫時、休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時13分</p> <p>再開 午前10時24分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>委員、全員出席ですので、委員会は成立いたしております。</p> <p>担当課にお聞きしましたところ、5月17日、水曜日、午前9時30分か らということで、この資料の説明と本町の取り組みについてお話すること にしました。</p> <p>それでは、2)の先進地取り組み状況の視察について議題といたします。 県内の上位自治体につきましては、大橋委員から、県が把握している部分 で取り組んでいる自治体を紹介していただくというお話がありました。</p> <p>はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>視察に行くまでもなくして、この町で取り組んでいることが、それが十 分なのかどうかを検証すべきだと思います。</p> <p>大体、ごみ出したことがない人たちが委員の中のほとんどだから。 だから、前にも言ったけれど、来てみなさい、私の家に。</p> <p>コンポストがある、生ごみは出さない。それから、それぞれ分別してい る、そういうことを皆さんが率先してやりながら、行政の担当者にこうす べきではないかと啓発をするべきであって、他を見たからといって勉強に ならないという訳ではないけれども、はっきり言えば金の無駄なの。</p> <p>委員長も調べていると思うけれども、この10年間のごみの処理にかか った経費の増減を、たまたま調べていたんです、この委員になる前に。</p> <p>どれだけ増えているかというのを比べてみて、災害の関係は別だから、 平成22年と比べてみて、それで増えていいということはないのだから、 減らすためにどうすべきかというのは、まず、この町の事情にそってや る以外にないのだから。</p> <p>この前、色麻町に行って勉強になったのが、行政区ごとの総会に担当者 が行って、ごみの減量の話をしている。</p> <p>ここでは何をやっているかということ、1年に1回、ごみの出す日のだけ です。やる気がないのです。例の後藤江、汚水問題も彼の担当でした。担 当者がきちんと仕事をするように、こちらがきちんと、この位はやらなけ ればだめだというのがなければ。</p>

	<p>だから、私は、廃棄物の法律、これを見て、この町の対応は不十分だと、他の町に比べてこの町のごみが多ければ、どうしたらいいかということ審議委員会を作りながら、ここは衛生組合があるから、衛生組合を利用しながら審議会をやっていくか、そういう方法が今までないわけでしょう。作りなさいよ、法律にあるのだから。減らすには、まず行政が何をやるかというのが必要なの。視察というのは、そのあとでいいと私は思う。さしあたって、そういうことをしてほしいと思う。</p> <p>ということは、私はこのごみの問題に関わっているよりも、この前で障がい者の差別がらみの方向に皆さんが行かなければいけないと、この間、福祉課が全員協議会で資料を持ってきたでしょう、あの中でも140人も障がい者がいるんだよ。そういうことあるから、この問題は早く切り上げて、次の問題に入っていくべきだろうと思う。</p>
福田委員長	それはですね、研究テーマとして常任委員会で決めたことについてやっているの、早く終わったからといって新たな研究テーマに、この残された期間ではできませんので。
橋本委員	ああ、そう、ずいぶんと固いんだね。
福田委員長	他に意見はありませんか。 はい、大橋委員。
大橋委員	<p>今、橋本委員が言ったように、色麻町に行って大変勉強になったと、その担当職員が各行政区に出向いて。</p> <p>そういうことで、他の自治体がどういう取り組みをしているかというのはとても参考になることだと思いますし、先進的な取り組みをやっている部分については学んでくるべきであって、それらと対比させながら、私たちの町でも取り組める項目というのがでてくるのだと思いますので、ぜひ県内の視察は行っていただきたい。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。</p> <p>他自治体の取り組み、特に先進地、本町と比べてかなりの数のごみの量が少ない、人口にも関わらず、ごみの量が少ないというところが、県内それから全国にもありますので、そういうところを視察することは、私は大事だと思います。インターネットだけで知れるものではないし、実際に、私たちはこれまでも色麻町や北海道にも行きました。その取り組み状況を見て、提言をしてきたので、この委員会の。</p> <p>はい、橋本委員。</p>
橋本委員	<p>視察に行ってきた、私に言ったことは何かというと、この地域では生ごみは埋めているということでしょう、そのあと止めたでしょう。</p> <p>この間、新聞にのってましたよ、北海道の。ここの公害問題だか汚水問題だから、生ごみをそのまま埋めるのを止めますと、調べてみなさい。</p> <p>大体、環境問題と関係なく、こんな話をしているからいけないのだ。それでいいかどうかは、他の問題との関係も調べながらやらなければいけな</p>

	い。あそこでは埋めているそうだからごみがでなくていいなんて、そんな単純な考えで済まされたら困るのだよ。
福田委員長	常任委員会で、埋めなさいという方向付けはありません。
平吹委員	だから、それは、埋め立てしてはいたけれども、埋めるところもないから、やはり焼却の方法を考えているという話です。
橋本委員	違う、そのあとに。
福田委員長	はい、橋本委員。
橋本委員	調べてみなさい。
福田委員長	他にありませんか。
橋本委員	委員の頭を切り換えましょう。
福田委員長	他にありませんか、今、橋本委員から本町の実態の取り組みが、他の町よりも本町でどう取り組むかが大事であると。視察も大事だけれど、まずそれをしてということで。 それから、大橋委員は他の自治体で学んだことを本町でも生かしていくという、先進地への視察は必要であるという意見がありました。 他の皆さんから、お伺いをしたいと思います。 佐野委員、ありませんか。
佐野委員	数字が色々と変わってきていますから、ごみにも生ごみとか紙ごみとかありますので、その辺の推移というのも調査して、ごみの減量をするためにはどういった施策がいいかを、担当課から聞いた中で確認すると思いますが。それと、仙南のほうでは、ごみを減らすために有料化をやっているの、多分 50 円だと思いましたがけれども、本別町は 100 円でしたかね、やる、やらないは別としても、意識というか、その辺の内容も踏まえた中で少なくなっているところもあるのではないかと、ごみを減量するためにはそういうふうなことも全国的な流れとしては、県内では確か、仙南のほうだけだと思いましたが、そういう検討というか勉強しているみたいだなと私はちょっと考えていました。
福田委員長	柳田委員、どうでしょうか。
柳田委員	佐野委員の言ったとおりだとは思いますが、有料化は住民にとってかなりの負担増になると思います。その前に、どう、ごみを減らせるかという方法を、もうちょっと何とか徹底したうえで、効果がなければそれも仕方がないかと。もうちょっと段階を踏んだほうが、有料化にはいいことだと思います。 先進地に行って色んな物を見させてもらっていますけれど、さっき橋本委員が言ったように、いかにして住民に周知させるかということに着目してもいいのかなと。ある程度、視察での効果がでている部分もありますが、そういうのも周知の仕方によっては、効果がないのかなと思いますので、うちの町でも取り組もうとしている 3 R だったり、3 切りですか。それだ

	<p>って、取り組んでも周知徹底がされなければ効果がないのかと。字を見たかぎりでは、効果がでてないと思いますので、周知徹底の仕方にも着目していったらいいのかと思いました。</p>
福田委員長	<p>今、先進地の取り組みを。</p>
柳田委員	<p>だから、その先進地に行って聞く時に、その辺に着目して聞いてくるのもいいのかなと。担当者がどのようにして、その地域に入って行って説明しているのか、町としてどのような広報の仕方をして住民に取り組んでもらっているのか、そういう住民との接し方ですかね。行って見て、そういうのを聞いて、そこの部分に着目してくるのもいいかと。</p>
福田委員長	<p>平吹委員は。</p>
平吹委員	<p>この表を見ますと、美里町はワーストに近いということで、先進地は私もいいと思います。</p> <p>どうなのかな、農村部とそうでない場合にどの程度の差があるのか、その辺の形も含めた中で調べて行って、次の時に、それも聞くかなと思っていました。</p> <p>例えば、先進地に行って重要な取り組みをしている行政区というか区があれば事前に調べて、そこに行って視察しても良いのかなと思います。</p> <p>したがって、2)については視察すべきだと私は思います。</p>
福田委員長	<p>副委員長。</p>
吉田副委員長	<p>先ほども、担当者の仕事云々という話ができましたけれども、ここ数年来の宮城県内のデータ、順位を見れば、もう少しやり方というか方法も、何故かと言われれば私も分かりませんが、考えてもらわなければならないのかと。それに付随して、これから、担当課から住民に対しての減量に向けたような方向付け、先ほどもありました。</p> <p>私も見ることや聞くことは、大変、大切なことではないかと思います。机上のものとかインターネットとか、そういうだけのデータをとればそれで済むということもできますが、それ以上のことが私たちにとっては吸収できるのではないかなと。</p> <p>ただ、それをうまく生かして、行政のほうとかね、委員会ですから、取り組んでやって行っていただければいいと思います。</p>
福田委員長	<p>皆さんから意見をお聞きしたところ、橋本委員以外はぜひ先進地に行って学んで、それを本町に取り入れる形で進めていくべきというお話がありました。その方向で、よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>それでは、先進地の視察の件につきましては、県内については県に問い合わせをしまして、先進的な取り組みをしているところを紹介していただく方法、訂正されてくるであろう3R取り組み上位市町村の宮城県の順位がでてから場所を決める方法と、どちらがよろしいでしょうか。</p> <p>はい、柳田委員。</p>

柳田委員	こちらのA3版のほうは合っていますよね。参考にするのは、こちらのほうでいいと思いますが。
福田委員長	リデュースはこの表のとおり、それから、リサイクル率については変わったので、表でひろって見ますと、リサイクル率の1位が気仙沼、2位が石巻、3位が女川、次が仙台市、ここまでが被災の関係の自治体だと思います。それから、5位が白石、6位が富谷、7位が多賀城、ここも被災地、8位が七ヶ宿、9位は登米、あとは丸森が11位ですけど、こういう順位になっているかと思います。相対すると、七ヶ宿が1人1日当たりのごみの量が本町に比べると少なくなっています。それから、リデュースについては2位の丸森町と、丸森町はリサイクル率では11位になっているところで、色麻町は先日行ってまいりまして、実態は分かりました。それから、並行していきますと登米市ですか、リデュースは7位、リサイクル率は9位ですね。両方を加味しますとこういう状況で、今のところがいいのかなと思いますけれど。 はい、柳田委員。
柳田委員	バランスを見ていたのですが、当然、総人口だったり、地域の発展ぐあいによって、だいぶ状況が違うというのが最近見えてきていますので、全体的にバランスよく、うちの町より数字がほとんどいいというのは、柴田町です。見ていただきたいのですが、柴田町はリサイクル率も高く、排出量もうちの町より低い、最終処分率については大崎管内の市町はすべて上位になっているので、焼却施設の問題もあるのでしょうから、その辺は多目に見ますと、柴田町が全体的にバランスよくていいのかなと、総人口の比率も我が町より1.5倍くらいですか、結構、参考になる町ではないかと思いますが。
福田委員長	柴田町、ごみの総排出量は高いのでは。
柳田委員	でも、リサイクル率とかその辺はうちよりもいいですし、それと、集団回収もしているんですよ。
福田委員長	逆に、何故こんなに排出量が多いのですかと聞くのもね。ごみを出さないということが基本で、今、取り組んでいるので、本町よりごみの量が多いところは。町の財政にしてみれば、ごみの排出量が多いのが町の負担が多いということになる。どうすれば、ごみを減らすことができるのかというところが、私たちの研究テーマになっているので、ごみ減量化に向けてどうすればいいのか。柳田委員からは、バランス的にいいということで柴田町があげられました。 はい、平吹委員。
平吹委員	県に問いかけて、例えば、丸森に行っても柴田に行ってもいいのですが、その町の中で先進的にやっている地区があれば、それを紹介してもらえばいいと、そのほうが分かるかなと思うのですが、この表を見ても全体的なものなので、この地区でこういうことをやっているというのがあればいい

	<p>いのかなと思います。 だから、県に問いかけて、ただ漠然として行ったとしても。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。 それでは、県に問い合わせると同時に、全体の実績の総括表を見ながら決めていくということによろしいでしょうか。 (「はい」の声あり) では、その方向で先進地を決めていきたいと思います。 県内につきましては、いつがいいのか、その日にちだけをこの会議で決めたいと思います。 暫時、休憩します。</p>
	<p>休憩 午前10時49分 再開 午前10時55分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 先進地の自治体については、5月23日が第1希望、5月29日が第2希望ということで、どちらかをお願いをしていく形になりますので、よろしく願いいたします。 つづきまして、の全国上位自治体の視察についてですが、次回に決めるという方法と、今日決める方法と、いかがいたしますか。 (「次回でいい」の声あり) 時期は、7月の上旬か中旬だと思います。 それでは、全国上位自治体の取り組み状況の視察につきましては、次回ということによろしいでしょうか。 (「はい」の声あり) 4番のその他で、何かありますか。 無いようですので、次回の開催につきましては、5月17日、9時30分からということをお願いしたいと思います。 副委員長、あいさつをお願いいたします。</p>
吉田副委員長	<p>以上をもちまして、本日の会議を終わらせていただきます。 大変、どうもご苦労様ございました。</p>
	<p>閉会 午前10時56分</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年4月21日

教育、民生常任委員会

委員長